履修モデル

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		1年次		2年次		3年次		4年次		計
				必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	
学修の基盤		基礎ゼミ1（主体的学修の基礎）	1前	1		○								9
		基礎ゼミ2（主体的学修の展開）	1後	1		○								
		中級ゼミ1（科学的思考の基礎）	2前	1				○						
		中級ゼミ2（科学的思考の展開）	2後	1				○						
		課題探求ゼミ1（研究の基礎）	3前	1						○				
		課題探求ゼミ2（研究課題の明確化）	3後	1						○				
		課題探求ゼミ3（卒業研究）	4通	3								○		
人間	人間学	ライフスパンと人間発達	1前	1		○								5
		生命の不思議	1前		1		○							
		生命哲学	1前		1									
		臨床人間学	1前		1									
		文学にみる生老病死	1前		1		○							
		教育論	4前		1									
		教育方法論	4前		1									
		教科教育法	4後		1									
		生涯学習論	4後		1								○	
		死生学	4後		1								○	
	コミュニケーション	基礎英語	1前		2		○							8
		中級英語	1後		2		○							
		上級英語	4前		2								○	
		基礎中国語	1前		2									
		中級中国語	2前		2									
		上級中国語	2後		2									
		基礎フランス語	2前		2									
		中級フランス語	2後		2									
		医学看護英語語彙	4前		2								○	
	生活行動	人間と生活行動1（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝすること）	1前	1		○								14
		人間と生活行動2（生命を支えること）	1後	3		○								
		人間と生活行動3（生活を創りだすこと）	1後	3		○								
		人間と生活行動4（生命を維持すること）	2前	3				○						
		人間と生活行動5（社会とかかわること）	2前	2				○						
		人間と生活行動6（生まれること・死にゆくこと　前）	2後	1				○						
		人間と生活行動7（生まれること・死にゆくこと　後）	2後	1				○						
環境	外部環境	環境論	1前	1		○								12
		微生物学	1前	1		○								
		薬理学	1前	1		○								
		社会学	1前	1		○								
		現代家族論	1前	1		○								
		京都の文化とくらし	1前		1		○							
		情報リテラシー	1前	1		○								
		公衆衛生学	1前	1		○								
		保健統計学入門	1前	1		○								
		保健統計学	3後	1						○				
		関係法規	4前	1								○		
		法からみる医療	4前		1								○	
		経済からみる医療	4後		1									
	内部環境	生化学	1前	1		○								4
		病理学	1前	1		○								
		クリティカルシンキング	1前	1		○								
		人間関係の心理学	1後		1									
		臨床心理学	2前		1				○					
	固有の価値	看護学原論	1前	2		○								13
		医療・看護倫理	1後	1		○								
		臨床推論	2前	1				○						
		看護過程論1（看護過程の展開）	2前	1				○						
		看護過程論2（看護診断）	2前	1				○						
		看護過程論演習	2後	2				○						
		看護キャリア開発論	3前		1						○			
		ケアリングコミュニケーション	3前	1						○				
		看護リフレクション	3後		1									
		臨床実践と看護理論	3後	1						○				
		課題探求	3後	1						○				
		臨床判断	4前	1						○				
		補完代替療法	4後		1									

健康・看護	管理	看護管理経営論	4前		1									4
		看護政策論	4前	1		○							○	
		医療安全	4後	1		○							○	
	広域	地域包括ケア論	1前	1		○								6
		地域包括ケア論演習	1後	1		○								
		国際看護論	2後	1				○						
		国際看護論実習	2後		1									
		家族看護学	3前	1						○				
		災害看護論	3前	1						○				
		公衆衛生看護学	3後	1						○				
	生活行動	生活行動逸脱看護1（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝすること）	1前	1		○								57
		生活行動逸脱看護2（生命を支えること）	1後	2		○								
		生活行動逸脱看護3（生活を創りだすこと）	1後	2		○								
		生活行動逸脱看護4（生命を維持すること）	2前	2				○						
		生活行動逸脱看護5（社会とかかわること）	2前	1				○						
		生活行動逸脱看護6（生まれること・死にゆくこと　前）	2後	2				○						
		生活行動逸脱看護7（生まれること・死にゆくこと　後）	2後	1				○						
		生活行動看護演習1（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝすること）	1前	1		○								
		生活行動看護演習2（生命を支えること）	1後	4		○								
		生活行動看護演習3（生活を創りだすこと）	1後	4		○								
		生活行動看護演習4（生命を維持すること）	2前	4				○						
		生活行動看護演習5（社会とかかわること）	2後	2				○						
		生活行動看護演習6（生まれること・死にゆくこと　前）	2後	2				○						
		生活行動看護演習7（生まれること・死にゆくこと　後）	2後	2				○						
		生活行動看護総合演習	2後	2				○						
		統合演習	4後	2								○		
		人間のライフスパンと生活行動実習1（人々の健康ニーズ）	1前	1		○								
		人間のライフスパンと生活行動実習2 （周産期・養育期にある人・家族への看護）	3通	2						○				
		地域包括ケア実習1（地域でくらす人々と包括ケアシステム）	1後	1		○								
		地域包括ケア実習2 （ケアニーズをもつ人々と地域包括ケアシステム）	1後	1		○								
		地域包括ケア実習3（回復期）	4前	4								○		
		生活行動看護実習1（環境と生活行動）	2前	1				○						
		生活行動看護実習2（看護過程）	2後	2				○						
		生活行動看護実習3（成熟期）	3通	4						○				
		生活行動看護実習3（育成期）	3通	2						○				
		生活行動看護実習3（こころ）	3通	1						○				
		生活行動看護実習4（終末期）	3後	2						○				
		総合実習	4前	2								○		
合計（102科目）			－	114	37									132

卒業要件及び履修方法

学生は4年以上在学し、「学修の基盤」から必修科目として9単位、「人間」から必修科目として15単位、選択科目として、「人間学」から5単位以上、「コミュニケーション」から8単位以上、「環境」から必修科目として13単位、選択科目として「環境」の選択科目から2単位以上、「健康・看護」から必修科目として77単位、選択科目として「健康・看護」の選択科目から3単位以上を修得し、合計132単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：48単位　（年間））